

Apple社によるiPhone価格改定後、 Back MarketのリファークビッシュiPhone販売台数が増加

iPhone 14以上のカテゴリで前週比41.6%増を記録
モデル別トップではiPhone 17が前週比900%の増加

世界最大級のリファークビッシュ電子機器に特化したマーケットプレイスであるBack Market Japan株式会社(本社:東京都渋谷区 以下、Back Market)は、Apple社が2026年7月18日（土）にiPhoneの価格改定により、Back Marketの日本サイトにおいてiPhoneカテゴリの販売台数が急増したことを発表します。リファークビッシュ品とは、中古品として回収された電子機器を専門家が検査・クリーニング・修理し、全ての機能で正常動作が確認されている整備済製品です。

■ Apple iPhoneの価格改定概要

Apple社は2026年7月18日（土）、日本国内のApple公式ストアにおけるiPhoneシリーズ（SIMフリー）価格の一律改定を実施しました。改定幅は機種によって異なります。

製品	改定前	改定後	値上げ幅
iPhone 17 Pro Max 256GB	¥194,800	¥214,800	+¥20,000 (+10%)
iPhone 17 Pro 256GB	¥179,800	¥194,800	+¥15,000 (+8%)
iPhone Air 256GB	¥159,800	¥177,800	+¥18,000 (+11%)
iPhone 17 256GB	¥129,800	¥142,800	+¥13,000 (+10%)
iPhone 16 Plus 128GB	¥129,800	¥144,800	+¥15,000 (+12%)
iPhone 16 128GB	¥114,800	¥124,800	+¥10,000 (+9%)
iPhone 17e 256GB	¥99,800	¥107,800	+¥8,000 (+8%)

*公式サイトより引用：<https://www.apple.com/jp/>

本値上げにより、Back Marketで販売されているリファークビッシュ品と新品との価格差がさらに拡大する結果となりました。製品の価格例については、以下のとおりです。

販売元	製品名	価格 *公式サイトを参照（2026年7月22日時点）
Apple社	iPhone 17 256GB	新品 ¥142,800
Back Market	iPhone 17 256GB	リファークビッシュ品価格 ¥117,730～
Apple社	iPhone 16 128GB	新品 ¥124,800
Back Market	iPhone 16 128GB	リファークビッシュ品価格 ¥93,000～

*本プレスリリース発表時のBack Marketで販売するCグレードの商品価格を参照

値上げ後の7月18日（土）から20日（月）の3日間におけるBack Marketの販売台数は、前週同期間（7月11日～13日）比でiPhone 14以上のカテゴリー全体において41.64%の増加を記録しました。モデル別ではiPhone 17が先週比900%増加を記録しており、新品の代替としてリファービッシュ品を選ぶ消費者行動の変化が明らかとなっています。

・ iPhone 14以上カテゴリー（前週比）販売増加率 TOP3

モデル	前週比
iPhone 17	+900%
iPhone 16 Pro MAX	+450%
iPhone 16	+156.25%

■Back Market Japan株式会社について

Back Marketは、2014年11月にフランスで設立されたユニコーン企業であり、携帯電話やパソコンなどの電子機器のリファービッシュ品（整備済製品）を取り扱う世界最大級のマーケットプレイスです。日本を含むアジア、欧州、米国など世界17ヶ国で事業を展開しており、販売業者に対する厳格な審査、新しい機器のリファービッシュ方法に関するノウハウ共有、品質と価格の最適なバランスに基づいて販売商品を提供する独自のアルゴリズムの開発などを通じて、リファービッシュ品の高い品質の維持に努めています。購入者に対しては、より安心してリファービッシュ品を購入できるように、1年間の動作保証と30日間の返品保証を無料で自動付帯しており、新品以下の価格かつ、中古品以上の品質と保証を持ち合わせたリファービッシュ品の普及に取り組んでいます。Back Marketでは、サステナブルで環境に優しい事業・活動を続けていくことを企業ミッションとして掲げており、2023年4月には「B Corporation（B Corp）」認証を取得しています。リファービッシュ品は新品と比較した場合、製造プロセスにおける原材料の使用量、水の使用量、電子廃棄物の発生量、大気中への二酸化炭素排出量の全項目において約10分の1となることから、リファービッシュ品の市場拡大を通じて、環境への負荷を低減することを目指しています。 <https://www.backmarket.co.jp/ja-jp>